

労働講座に参加して

七尾支部 秋元 良和

今回、執行委員1年生として初めて労働講座に参加させていただきました。青年部長時代の顔見知りの方もいて、少し安心しました。微力ながら少しでも支部、そして全港湾の力になればという思いで講座を受けました。

第一講義の歴史では、とても長い歴史を一時間では全部を理解するのはとても難しい事でした。それでも先人達が闘争をして自分達の権利として、今まで組織として継続させてくれた事で、今の僕達の労働条件が確立されている事は当たり前ではなく、自分達で継承して若い人達に繋いでいかないと無くなってしまう危機感と使命感を学びました。

第二講義では、選挙と協定・事前協議を勉強しました。何かをするのも決めるのも、議員が味方にいる事が必要である事、そのためには、選挙活動も組合の大事な仕事の一つである事。それを若い人達に教えながら力になってもらい当選させるのは大変な事ですが、それをしていかないと厳しい未来が待っているとも感じました。

協定の中でも産別協定は、自分達の職域と雇用を守る大事な協定だと改めて感じました。

今回の57期とは講座・ドッジボール・懇親会で、より一層の横の繋がりと絆を深めた事は自分の財産になりました。この57期のメンバーは一緒に、まずは支部で活動しながら地本・中央と全体の組織を盛り上げていき、全港湾の長い歴史の中に新たな1ページを刻めるように頑張って勉強して精進しようと思います。

今回、貴重な時間を割いて講師をして下さった委員長・書記長・森屋さんには、感謝しかありません。ありがとうございました。また、成長した姿を見せれるよう頑張ろうと思います。参加させてもらえ、ありがとうございました。